

科目名	社会とエコロジーの接点
開設学校名	岐阜大学
講師	地域協学センター 助教 伊藤 浩二 (いとう こうじ)
初回予定日	10月5日(火)
授業時間	毎週火曜日 3時限目 13:00 - 14:30 (全15回)
主会場	岐阜大学柳戸キャンパス 全学共通教育講義棟 21教室
聴講方法	対面授業
科目内容	<p>本講義では農業・林業・漁業をはじめとした様々な人間活動が自然と調和し持続的に成立している「社会生態システム」を理解することをねらいとします。</p> <p>具体的には、我が国では2050年に人口が現在の2/3となることが予測される「人口減少社会」の到来を目前としていますが、そのような状況下において、社会生態システムの持続可能性を高めることが、地域社会における持続可能な開発目標(SDGs)の達成にもつなげることを事例から理解することを目指します。岐阜県内には世界農業遺産やユネスコエコパークといった世界的認証システムに登録された地域や、緑豊かな岐阜大キャンパスを有するので、フィールドに根ざした考察を深める機会を設けたいと思います。</p>
注意事項	新型コロナウイルス感染症の状況により日程や聴講方法に変更が生じる場合があります。

授業の開催日程

回	日付	講義テーマ
第1回	10月5日	ガイダンス～なぜ社会生態システムを学ぶのか？SDGsへの貢献
<パートⅠ> 生物多様性・生態系と私たちの社会		
第2回	10月12日	①生物多様性、生物文化多様性、生態系サービスとは(講義)
第3回	10月19日	②生態系にまつわる課題とマネジメント(講義)
第4回	10月26日	③国と地域での動き～生物多様性戦略、地域循環共生圏、SDGs未来都市など(講義)
<パートⅡ> 社会生態システムを具体例から理解する		
第5回	11月2日	①世界農業遺産、文化的景観とは～各地の世界農業遺産を事例に(講義)
第6回	11月9日	②世界農業遺産「清流長良川の鮎」を例に(事前学習)
第7回	11月16日	③世界農業遺産「清流長良川の鮎」を例に(見学会)
第8回	11月30日	④世界農業遺産「清流長良川の鮎」を例に(ふりかえり)
第9回	12月7日	⑤社会生態システムの多様なあり方～エコパーク・ジパーク等を例に(講義)
<パートⅢ> 社会生態システムとしての都市のグリーンインフラ		
第10回	12月14日	①グリーンインフラの具体的事例をもとに考える
第11回	12月21日	②フィールドでの課題発見とアイデア検討(グループワーク)
第12回	1月11日	③フィールドでの課題発見とアイデア検討(グループワーク)
第13回	1月18日	④社会生態システムと参加・協働のデザイン①(グループワーク)
第14回	1月25日	⑤社会生態システムと参加・協働のデザイン②(グループワーク)
第15回	2月1日	⑥社会生態システムと参加・協働のデザイン③(発表会)

※ 講義タイトル、順序については変更の可能性があります。